

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月5日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間野 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 財務本部財務部長 (氏名) 望月 宏樹 TEL 075-951-7171
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	328,549	△4.4	15,446	△32.1	12,332	△41.4	9,973	△39.8
2024年3月期中間期	343,772	23.0	22,737	ー	21,060	ー	16,562	ー

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 4,047百万円 (△85.8%) 2024年3月期中間期 28,420百万円 (160.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	93.54	93.28
2024年3月期中間期	155.31	154.81

(参考) のれん等償却前営業利益 2025年3月期中間期 20,741百万円 (△25.4%)

2024年3月期中間期 27,811百万円 (347.3%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(注) 2024年3月期中間期の営業利益及び経常利益の対前年中間増減率は、それぞれ2,259.3%、2,214.7%となり増減率が1,000%を超えるため、「ー」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	517,295	119,178	22.9	1,111.98
2024年3月期	531,495	117,333	22.0	1,094.53

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 118,587百万円 2024年3月期 116,740百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	ー	ー	20.00	20.00
2025年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2025年3月期 (予想)	ー	ー	ー	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	△4.5	27,000	△36.6	21,000	△44.0	18,000	△34.6	168.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日（2024年11月5日）公表いたしました「2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(参考) のれん等償却前営業利益 37,000百万円 (△30.0%)

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 一社、除外 1社 (社名) 力至優叉車(上海)有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	106,761,013株	2024年3月期	106,739,013株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	115,612株	2024年3月期	81,275株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	106,618,964株	2024年3月期中間期	106,641,686株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学的緊張が続く中でディスインフレの進展に混乱が生じて金融政策の正常化を複雑にしており、経済成長の伸長は足踏み状態にあります。米国の景気拡大ペースは減速しながらも底堅く推移、欧州の景気は持ち直しつつある中でドイツ経済の低調もあって景況感に勢いはなく、中国は足許ではやや回復も不動産不況を始めとして内需は依然低迷を続けています。また、ウクライナ侵攻や中東情勢といった長期化する地政学的リスクもあり、景気の動向は地域ごとに異なる様相を呈しています。一方、我が国経済は、インバウンド需要の好調や物価上昇に対応した価格転嫁の進展などもあって企業の景況感は良好、設備投資も堅調に推移しており、物価上昇により実質賃金の上昇が感じられず伸び悩んでいた個人消費も下げ止まって、景気は緩やかに持ち直しています。

このような中、フォークリフトを始めとする物流機器市場は、国内においては、引き続き安定的・堅調に推移しています。海外においては、米州では代理店在庫の調整局面が想定よりも長引き、当社の卸売受注は弱含みに推移していましたが、その局面も徐々に解消に向かいつつあります。一方で、欧州では一時回復基調にあったものの需要は伸び悩んでいる状況です。堅調であったアジアもここに来て伸長が見られず、中国は景気停滞にあって物流機器需要も減退傾向です。

当社においては、課題であったリードタイムを正常化させ、価格適正化による収益性の改善も進めながら、安心・安全、自動化・自律化、脱炭素といった物流機器市場のニーズの高まりにも応えています。そのような中で生じた北米におけるエンジン認証遅延による一部機種の出荷停止については、当局との調整の結果、主力機種の出荷を再開して引き続き挽回に努めているところです。しかしながら、世界経済の成長が鈍化する中で、米国大統領選挙後の動静や中国を含むサプライチェーンに対するリスク、金利や為替の動向、地政学的リスクの長期化などにより、不確実性を増す世界経済の先行きは不透明で予断を許さない状況となっています。

このような状況のもと、当中間連結会計期間における売上高は、価格適正化効果や為替の円安影響があったものの、北米でのエンジン認証遅延による影響に加えて、代理店における在庫調整もあり、3,285億4千9百万円(前年同期比4.4%減少)となりました。

利益面では、米州での売上減少の影響が大きく、営業利益は154億4千6百万円(同32.1%減少)、経常利益は123億3千2百万円(同41.4%減少)となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、固定資産の譲渡に伴う売却益、中国販売子会社の譲渡に伴う売却損が計上されたこともあり、99億7千3百万円(同39.8%減少)となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、営業利益は207億4千1百万円(同25.4%減少)となり、営業利益率は6.3%(同1.8ポイント減)となっております。

(単位: 億円)	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	増減	
			(億円)	(率)
売上高	3,437.7	3,285.4	△152.2	△4.4%
のれん等償却前営業利益 (率)	278.1 8.1%	207.4 6.3%	△70.7	△25.4%
営業利益 (率)	227.3 6.6%	154.4 4.7%	△72.9	△32.1%
経常利益 (率)	210.6 6.1%	123.3 3.8%	△87.2	△41.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益 (率)	165.6 4.8%	99.7 3.0%	△65.8	△39.8%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

〔国内事業〕

国内事業は、受注が堅調に推移する中、価格適正化の効果も寄与したことから、売上高は945億9千1百万円(前年同期比1.8%増加)となりました。セグメント利益は、国内販売においては堅調に推移しているものの、海外生産拠点からのライセンス収入の減少や研究開発費等の経費の増加もあって、16億8千4百万円(同46.2%減少)となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は41億1千9百万円(同25.8%減少)となっております。

国内事業 (単位：億円)	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	増減	
			(億円)	(率)
売上高	928.8	945.9	17.0	1.8%
のれん等償却前営業利益 (率)	55.5 6.0%	41.1 4.4%	△14.3	△25.8%
営業利益 (率)	31.3 3.4%	16.8 1.8%	△14.4	△46.2%

〔海外事業〕

海外事業は、為替の円安影響はあったものの、北米での一時出荷停止の影響に加え、地域によっては市場の減速もあり、売上高は2,339億5千7百万円(前年同期比6.7%減少)となりました。セグメント利益は、売上高の減少及びインフレ等における経費の増加により、137億6千2百万円(同29.8%減少)となりました。

特に海外事業の前年同期は、部品欠品が解消されていく中で生産を拡大、出荷を促進して、加えて価格適正化効果の寄与もあり、売上高並びにセグメント利益を大きく伸ばさせましたが、それに反して当期は、北米での一部機種の一時的出荷停止や地域によっては市場の減速などがあったために、売上高、セグメント利益ともに減少しています。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は166億2千1百万円(同25.3%減少)となっております。

海外事業 (単位：億円)	2024年3月期 中間期累計	2025年3月期 中間期累計	増減	
			(億円)	(率)
売上高	2,508.8	2,339.5	△169.2	△6.7%
のれん等償却前営業利益 (率)	222.5 8.9%	166.2 7.1%	△56.3	△25.3%
営業利益 (率)	196.0 7.8%	137.6 5.9%	△58.4	△29.8%

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は5,172億9千5百万円となり、主に為替相場が円安基調から一転円高になったことで、前連結会計年度末より142億円減少しました。流動資産は棚卸資産が増加したものの、売上債権等の減少により、36億8千4百万円減少、固定資産は円高による換算影響が大きく、105億1千5百万円減少しました。

負債合計は3,981億1千6百万円となり、主に買掛金が減少し、また円高影響も加わり、前連結会計年度末より160億4千5百万円減少しました。

また、純資産については、新株予約権及び非支配株主持分を除くと1,185億8千7百万円となり、前連結会計年度末より18億4千7百万円増加しました。主な要因は、為替相場が円安基調から一転円高になったことで為替換算調整勘定の減少があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益の獲得による利益剰余金の増加があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当中間連結会計期間までの実績を踏まえて、通期の業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2024年11月5日)公表いたしました「2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,166	17,905
受取手形、売掛金及び契約資産	100,196	90,338
電子記録債権	2,605	2,311
商品及び製品	76,935	75,170
仕掛品	13,587	18,019
原材料及び貯蔵品	35,027	37,739
その他	44,184	47,422
貸倒引当金	△1,847	△1,737
流動資産合計	290,856	287,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	22,762	22,250
機械装置及び運搬具 (純額)	97,858	95,811
土地	21,675	21,485
リース資産 (純額)	27,468	25,543
その他 (純額)	9,389	9,795
有形固定資産合計	179,155	174,886
無形固定資産		
のれん	19,401	14,991
その他	14,415	12,343
無形固定資産合計	33,816	27,334
投資その他の資産		
投資有価証券	7,961	8,628
その他	19,753	19,319
貸倒引当金	△47	△45
投資その他の資産合計	27,667	27,902
固定資産合計	240,639	230,123
資産合計	531,495	517,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,894	65,791
短期借入金	46,766	51,849
リース債務	7,811	7,359
未払法人税等	2,901	5,384
賞与引当金	6,401	5,358
役員賞与引当金	102	45
製品保証引当金	4,272	3,520
関係会社整理損失引当金	75	75
その他有利子負債	7,709	8,017
その他	58,437	53,628
流動負債合計	213,374	201,030
固定負債		
長期借入金	118,402	115,418
リース債務	19,615	18,127
製品保証引当金	405	281
役員退職慰労引当金	5	8
退職給付に係る負債	16,484	16,520
その他有利子負債	40,665	42,164
その他	5,208	4,564
固定負債合計	200,787	197,085
負債合計	414,162	398,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,957
資本剰余金	34,793	34,806
利益剰余金	43,265	51,105
自己株式	△92	△162
株主資本合計	82,915	90,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,705	2,988
為替換算調整勘定	30,977	24,784
退職給付に係る調整累計額	141	106
その他の包括利益累計額合計	33,824	27,879
新株予約権	255	238
非支配株主持分	337	353
純資産合計	117,333	119,178
負債純資産合計	531,495	517,295

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	343,772	328,549
売上原価	255,292	243,693
売上総利益	88,480	84,856
販売費及び一般管理費	65,742	69,409
営業利益	22,737	15,446
営業外収益		
受取利息	542	875
受取配当金	55	63
持分法による投資利益	76	19
為替差益	432	—
その他	166	264
営業外収益合計	1,272	1,223
営業外費用		
支払利息	2,876	3,714
為替差損	—	485
その他	72	137
営業外費用合計	2,949	4,337
経常利益	21,060	12,332
特別利益		
固定資産売却益	345	5,827
投資有価証券売却益	1	116
受取保険金	60	—
特別利益合計	407	5,944
特別損失		
固定資産処分損	57	95
減損損失	29	—
関係会社整理損	—	2,323
事業構造改善費用	107	—
特別損失合計	194	2,418
税金等調整前中間純利益	21,273	15,857
法人税、住民税及び事業税	7,478	6,683
法人税等調整額	△2,792	△811
法人税等合計	4,686	5,871
中間純利益	16,587	9,985
非支配株主に帰属する中間純利益	24	12
親会社株主に帰属する中間純利益	16,562	9,973

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	16,587	9,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131	285
為替換算調整勘定	11,692	△6,164
退職給付に係る調整額	11	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△24
その他の包括利益合計	11,833	△5,938
中間包括利益	28,420	4,047
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	28,385	4,028
非支配株主に係る中間包括利益	34	18

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,887	250,885	343,772	—	343,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,481	947	28,429	△28,429	—
計	120,368	251,832	372,201	△28,429	343,772
セグメント利益	3,133	19,603	22,737	—	22,737

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額です。
 2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 3. セグメント利益と当社が経営上の重要な指標として用いているのれん等償却前営業利益との差額は、企業結合日において受け入れた識別可能資産(評価差額)に係る減価償却費及びのれん償却額です。

	国内事業	海外事業	計
セグメント利益	3,133	19,603	22,737
のれん償却額	2,000	1,792	3,792
評価差額償却費	420	862	1,282
のれん等償却前 営業利益	5,554	22,257	27,811

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 重要な該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	94,591	233,957	328,549	—	328,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,056	800	24,857	△24,857	—
計	118,648	234,757	353,406	△24,857	328,549
セグメント利益	1,684	13,762	15,446	—	15,446

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額です。
 2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 3. セグメント利益と当社が経営上の重要な指標として用いているのれん等償却前営業利益との差額は、企業結合日において受け入れた識別可能資産(評価差額)に係る減価償却費及びのれん償却額です。

	国内事業	海外事業	計
セグメント利益	1,684	13,762	15,446
のれん償却額	2,000	1,926	3,926
評価差額償却費	435	932	1,367
のれん等償却前 営業利益	4,119	16,621	20,741

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 重要な該当事項はありません。

3. その他

参考情報：2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算<連結>

1. 決算ハイライト

(単位：億円)

	2024年3月期					2025年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計
売上高	1,661.2	1,776.4	1,771.8	1,808.1	7,017.7	1,658.8	1,626.6			3,285.4
のれん等償却前営業利益 (営業利益率)	128.2 7.7%	149.8 8.4%	158.2 8.9%	92.3 5.1%	528.7 7.5%	96.7 5.8%	110.6 6.8%			207.4 6.3%
のれん等償却	△25.0	△25.6	△25.9	△26.0	△102.7	△26.7	△26.2			△52.9
営業利益 (営業利益率)	103.2 6.2%	124.1 7.0%	132.3 7.5%	66.3 3.7%	426.0 6.1%	70.0 4.2%	84.3 5.2%			154.4 4.7%
経常利益 (経常利益率)	96.2 5.8%	114.3 6.4%	117.8 6.7%	46.3 2.6%	374.7 5.3%	58.0 3.5%	65.2 4.0%			123.3 3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	66.0 4.0%	99.5 5.6%	80.2 4.5%	29.3 1.6%	275.2 3.9%	77.8 4.7%	21.9 1.3%			99.7 3.0%

為替レート

(単位：円)

USD	137.37	141.00	143.29	144.62		155.83	152.61			
EUR	149.47	153.39	155.29	156.80		167.83	165.92			

2. セグメント情報

(単位：億円)

		2024年3月期					2025年3月期				
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計
売上高	国内事業	447.0	481.8	486.3	489.1	1,904.4	464.4	481.4			945.9
	海外事業	1,214.2	1,294.5	1,285.4	1,318.9	5,113.2	1,194.3	1,145.1			2,339.5
営業利益	国内事業	29.7	25.8	38.6	4.8	99.0	14.9	26.2			41.1
	海外事業	98.5	124.0	119.6	87.5	429.7	81.8	84.3			166.2

※ 営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位：億円)

地域	2024年3月期					2025年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計
日本	447.0	481.8	486.3	489.1	1,904.4	464.4	481.4			945.9
米州	866.9	944.0	934.4	953.3	3,698.6	858.1	842.3			1,700.4
欧州	256.9	252.5	262.0	281.0	1,052.6	261.8	230.9			492.7
アジア・中国	90.3	98.0	88.9	84.6	361.9	74.3	71.9			146.3
計	1,661.2	1,776.4	1,771.8	1,808.1	7,017.7	1,658.8	1,626.6			3,285.4

3. フォークリフト販売台数

(単位：千台)

	2024年3月期					2025年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	計
国内	7	7	7	7	28	6	7			13
海外	21	21	20	20	82	16	15			31
合計	28	29	27	27	110	22	22			44